

阿南工業高等専門学校				建設システム工学科（平成25年度以前入学生）								開講年度				平成21年度（2009年度）											
学科到達目標																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q			1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
専門	選択	ものづくり工学	0000	履修単位	3	3																田中 達治					
専門	選択	デザイン基礎	0001	履修単位	2	2																多田 博夫					
専門	必修	情報リテラシー	0002	履修単位	2	2																田中 達治					
専門	必修	測量学 1	0003	履修単位	2					2	2											堀井 克章					
専門	必修	測量実習	0004	履修単位	2					2	2											堀井 克章					
専門	必修	構造力学基礎	0005	履修単位	1						2											笹田 修司					
専門	選択	環境生物学	0006	履修単位	1						2																
専門	選択	CAD製図	0007	履修単位	1					2												笹田 修司					
専門	必修	材料学	0008	履修単位	1						2											堀井 克章					

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成21年度 (2009年度)		授業科目	ものづくり工学		
科目基礎情報								
科目番号		0000		科目区分		専門 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 3		
開設学科		建設システム工学科 (平成25年度以前入学生)		対象学年		1		
開設期		通年		週時間数		3		
教科書/教材		実習書/各コースで指定						
担当教員		田中 達治						
到達目標								
1.各分野の理論と応用に関する基礎的事項を習得し、説明することができる。 2.複合融合分野技術の応用に関する基礎的事項を修得し、説明することができる。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		各分野の理論と応用に関する基礎的事項を習得し、他分野に应用することができる。		各分野の理論と応用に関する基礎的事項を習得し、説明することができる。		各分野の理論と応用に関する基礎的事項を習得していない。		
評価項目2		複合融合分野技術の応用に関する基礎的事項を修得し、他分野に应用することができる。		複合融合分野技術の応用に関する基礎的事項を修得し、説明することができる。		複合融合分野技術の応用に関する基礎的事項を修得していない。		
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要		ものづくりに関わる技術者としての基礎を身に付けるため、機械、電気、情報、建設、科学の5コースの内容について、1年間で5つの期間に分けローテーションで座学・実習を通じて学ぶ。広い工学分野の知識を身に付けることで、現在の社会が求めている複合融合分野の技術者となるための基礎を築き、ものづくりの楽しさを得ることで、2年次以降の専門科目の勉強に取り組む意欲を持つことを目標とする。						
授業の進め方・方法								
注意点		各コースで集合場所や準備するもの（服装）が違います。 各コースで安全面での注意があります。必ず守ってください。						
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		実施方法の理解			
		2週	安全教育		安全に対する理解			
		3週	キャリア教育		キャリア形成の理解			
		4週	コース実習①		実習内容の理解			
		5週	コース実習②		実習内容の理解			
		6週	コース実習③		実習内容の理解			
		7週	コース実習④		実習内容の理解			
		8週	キャリア教育～コース実習×4					
	2ndQ	9週	キャリア教育～コース実習×4					
		10週	キャリア教育～コース実習×4					
		11週	キャリア教育～コース実習×4					
		12週	キャリア教育～コース実習×4					
		13週	キャリア教育～コース実習×4					
		14週	キャリア教育～コース実習×4					
		15週	キャリア教育～コース実習×4					
		16週						
後期	3rdQ	1週	キャリア教育～コース実習×4					
		2週	キャリア教育～コース実習×4					
		3週	キャリア教育～コース実習×4					
		4週	キャリア教育～コース実習×4					
		5週	キャリア教育～コース実習×4					
		6週	キャリア教育～コース実習×4					
		7週	キャリア教育～コース実習×4					
		8週	キャリア教育～コース実習×4					
	4thQ	9週	キャリア教育～コース実習×4					
		10週	キャリア教育～コース実習×4					
		11週	筆記試験・課題解決説明					
		12週	課題解決①		実施方法・テーマ理解			
		13週	課題解決②		グループ討議			
		14週	課題解決③		グループ討議			
		15週	課題解決④		発表会（相互評価）			
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	10	0	0	20	0	30
専門的能力	30	10	0	0	20	0	60
分野横断的能力	0	10	0	0	0	0	10

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成21年度 (2009年度)		授業科目	情報リテラシー	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	建設システム工学科 (平成25年度以前入学生)		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	Windows Vista 対応 Office2010(実業出版)/超図解 Word で困った こんな時どうする (エクスメディア) 、情報処理入門 (コロナ社)						
担当教員	田中 達治						
到達目標							
1.パソコンを使うときに守るべきルール・マナーについて説明できる。 2.ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトを使って文章作成ができる。 3.パソコンの構造やネットワークの仕組みについて説明できる。 4.パソコンにおけるソフトウェアの役割について説明できる。 5.簡単なWEBページをタグにより作成できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		パソコンを利用する上で発生する問題について正しい対処法を実践できる。		パソコンを利用するときに必要なルール、マナーについて説明できる。		パソコンを利用するときに必要なルール、マナーについて説明できない。	
評価項目2		ワープロ、表計算、プレゼンテーションの各ソフトウェアを複合的に使って文章作成ができる。		ワープロ、表計算、プレゼンテーションそれぞれのソフトウェアを使って目的のファイルを作成できる。		ワープロ、表計算、プレゼンテーションのうち一つでも使用できないソフトがある。	
評価項目3		パソコンやネットワークにおける要素の関連性について意識しシステムとして説明できる。		パソコンやネットワークにおける個々の要素について説明できる。		パソコンやネットワークにおける個々の要素について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		技術者として身につけておくべきコンピュータの基本操作を実習によって修得する。また、専門教科を学習する上で必要なソフトウェアとハードウェアの基礎知識に加え、情報ネットワークの全般的な取り扱い方について学ぶことにより、コースを問わず必要となるICT技術の基礎を身に着ける。					
授業の進め方・方法							
注意点		情報リテラシーは、技術者にとって非常に大切な道具として、日常的に利用します。これに対し、ハードウェアやソフトウェアは日進月歩ですから、常に新しい知識や技法を修得する必要があります。この為、マニュアルを読んで理解し、それを活用することに習熟しなければなりません。授業では、情報リテラシーの一部しか取り扱いませんので、自分から進んで勉強し、得られた知識を応用する習慣を身に付けてください。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		情報システム使用上の注意点について説明できる。		
		2週	パソコンの基本操作		情報セキュリティとマナーについて説明できる。		
		3週	パソコンの基本操作		Windowsの基本操作、メールの使用法を習得する。		
		4週	パソコンの基本操作		Windowsの基本操作、メールの使用法を習得する。		
		5週	Wordと文書作成		Wordによる文章入力、さらに表や画像を活用した文書の作成ができる。		
		6週	Wordと文書作成		Wordによる文章入力、さらに表や画像を活用した文書の作成ができる。		
		7週	Wordと文書作成		Wordによる文章入力、さらに表や画像を活用した文書の作成ができる。		
		8週	Wordと文書作成		Wordによる文章入力、さらに表や画像を活用した文書の作成ができる。		
	2ndQ	9週	前期中間試験				
		10週	Excelとデータ処理		基礎的な表計算を行うことができる。		
		11週	Excelとデータ処理		Excelにおいて、関数とグラフを利用した表計算を行うことができる。		
		12週	Excelとデータ処理		Excelにおいて、関数とグラフを利用した表計算を行うことができる。		
		13週	Power Pointとプレゼンテーション		テキスト入力や図やグラフの活用したプレゼンテーションの作成ができる。		
		14週	Power Pointとプレゼンテーション		テキスト入力や図やグラフの活用したプレゼンテーションの作成ができる。		
		15週	Power Pointとプレゼンテーション		テキスト入力や図やグラフの活用したプレゼンテーションの作成ができる。		
		16週					
後期	3rdQ	1週	レポート作成		Word、Excel、Power Pointを使用してレポートを作成できる。		
		2週	コンピュータの歴史		コンピュータの発展やソフトウェア環境の発展 (CUI、GUI) を説明できる。		
		3週	ディレクトリ構造		ディレクトリ構造について説明でき、簡単なコマンドライン操作ができる。		
		4週	ディレクトリ構造		ディレクトリ構造について説明でき、簡単なコマンドライン操作ができる。		

		5週	ディレクトリ構造	ディレクトリ構造について説明でき、簡単なコマンドライン操作ができる。
		6週	ハードウェアとソフトウェア	パソコンのハードウェア構成、ソフトウェアの分類について説明できる。
		7週	ハードウェアとソフトウェア	パソコンのハードウェア構成、ソフトウェアの分類について説明できる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	情報の表現	2進数、10進数、16進数の互いの書き換えについて計算できる。
		10週	情報の表現	負の数の2進数表記、浮動小数点法を用いた少数表記を行うことができる。
		11週	情報の表現	負の数の2進数表記、浮動小数点法を用いた少数表記を行うことができる。
		12週	コンピュータネットワーク	タグによりWEBページを作成できる。
		13週	コンピュータネットワーク	インターネットの利用とトラブル例について説明できる。
		14週	コンピュータネットワーク	LANとWAN、IPアドレス、プロトコル等ネットワークについて説明できる。
		15週	コンピュータネットワーク	LANとWAN、IPアドレス、プロトコル等ネットワークについて説明できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100	
基礎的能力	50	0	0	0	45	0	95	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	5	0	5	